

5.8 景観

5.8.1 調査実施日

本調査の実施日は、表 5.8-1 に示すとおりである。

表 5.8-1 景観調査実施日

調査項目	調査実施日
景観調査	令和6年 2月25日、3月16日 8月8日、19日 10月11日、30日

5.8.2 調査方法

事業実施区域が視認できる主要な視点場の状況、主要な自然景観および都市景観資源の状況、主要な景観の状況について、資料調査および現地踏査(目視確認、写真撮影)により把握した。

5.8.3 調査地

調査地は、図 5.8-1 に示すとおり、事業実施区域を望む遠景眺望点である、さっぽろテレビ塔、大通公園(大通西5丁目～西11丁目)、地下鉄円山公園駅(大通西25丁目～西27丁目)の3エリアとし、それぞれ2～3地点の眺望点を設定した。

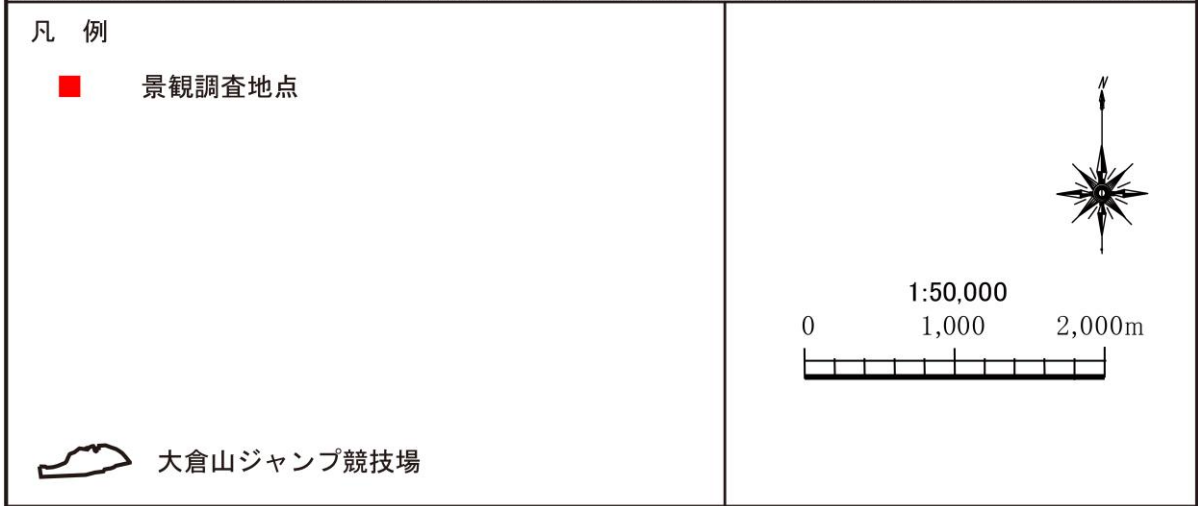
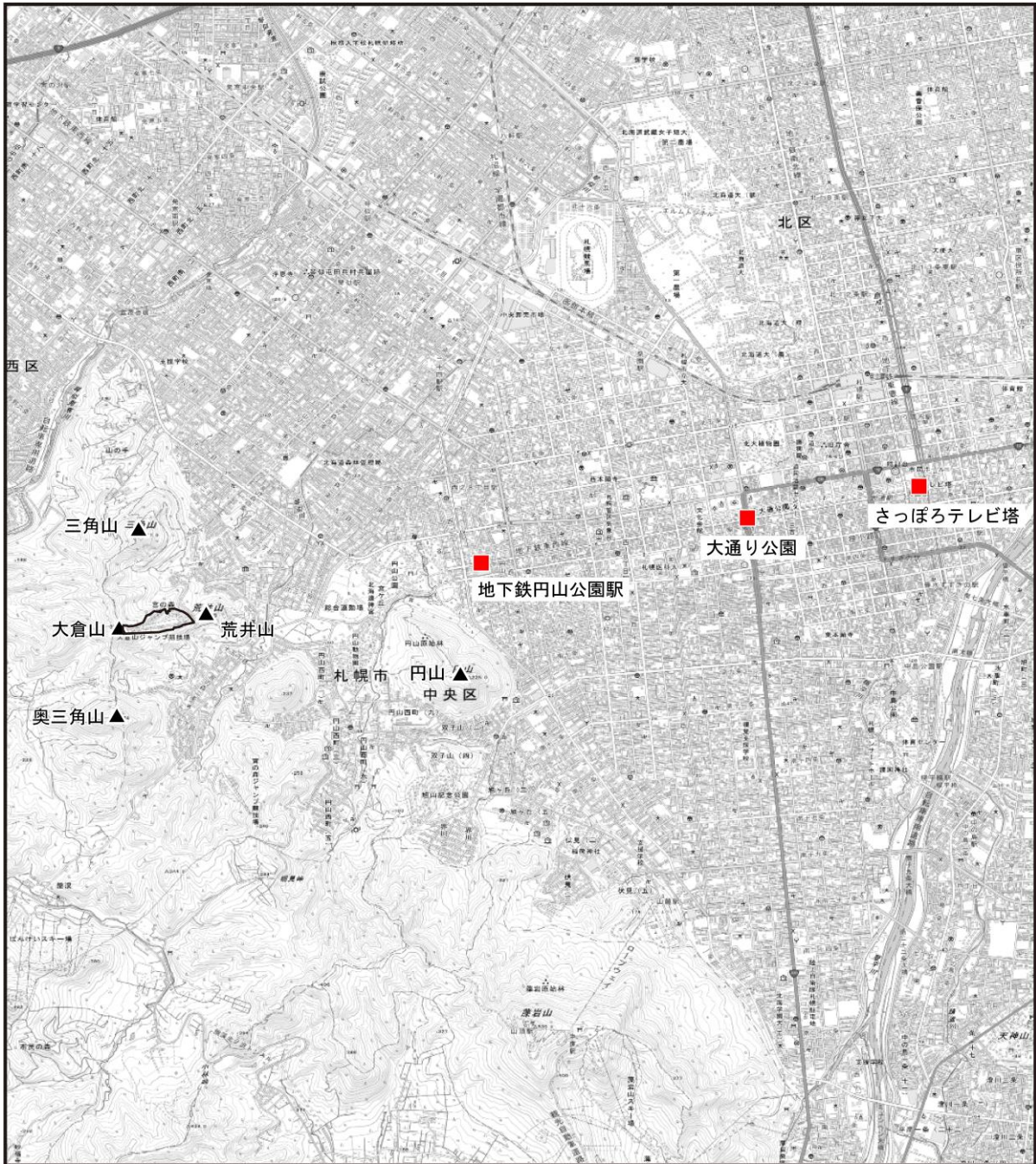


図 5.8-1 景観調査地位置図

5.8.4 調査結果

(1) 事業実施区域周辺の景観資源

事業実施区域周辺には自然景観資源として、円山原始林と藻岩山原始林がある。これらは全域が国の天然記念物に指定されている。

また、都市景観資源として、景観法に基づく景観重要建造物、文化財保護法に基づく指定文化財、札幌市景観条例に基づく札幌景観資産が指定されている。

これらの指定状況は表 5.8-2 に、指定位置は図 5.8-2 に示すとおりである。

表 5.8-2 札幌市景観資源指定状況

(1/2)

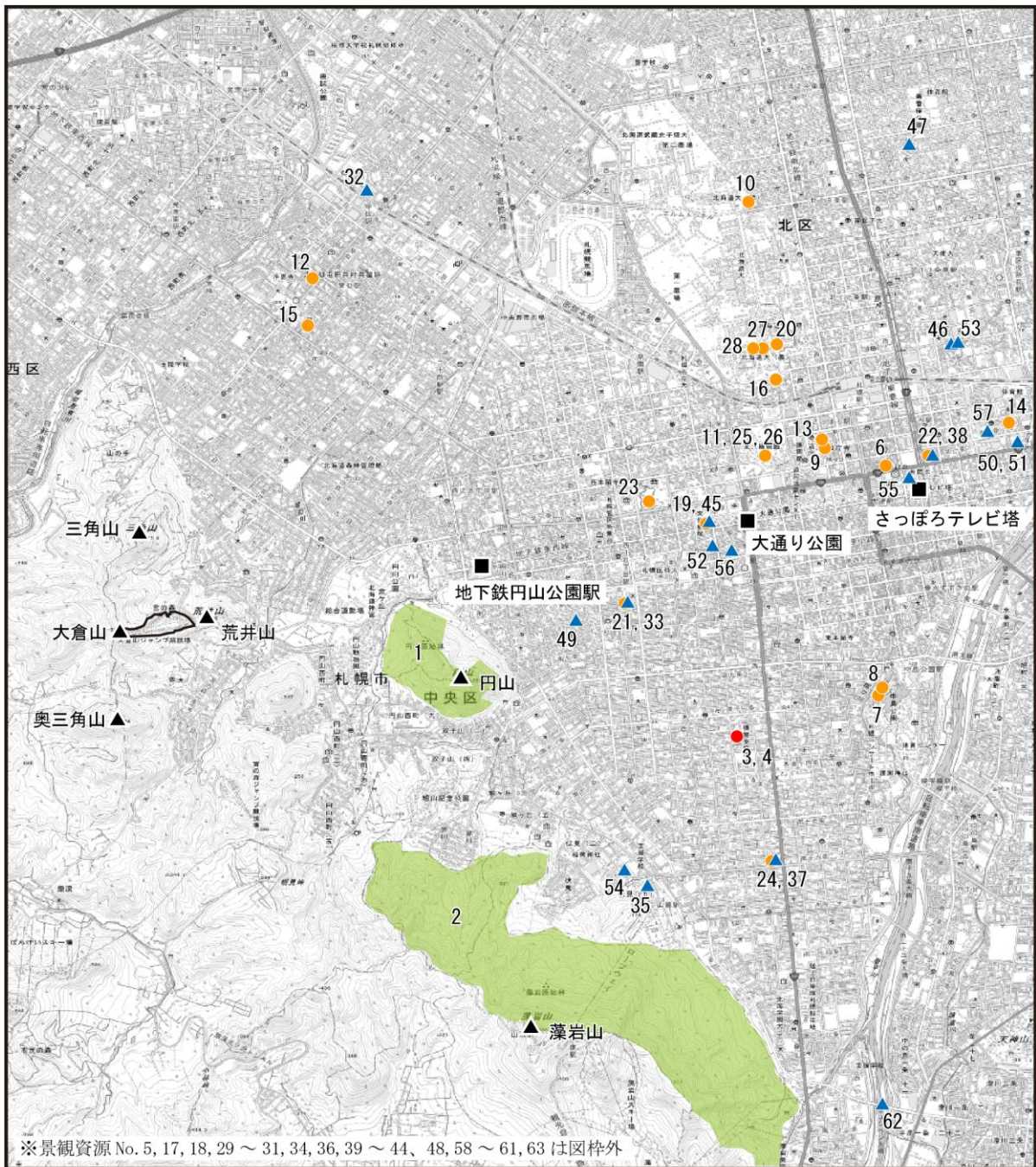
No.	分類		名称	所在地			
1	自然的 景観 資源		円山原始林	札幌市中央区円山			
2			藻岩原始林	札幌市南区藻岩山			
3	歴史的 景観 資源	景観 重要 建造物	日本福音ルーテル札幌教会	札幌市中央区南 12 条西 12 丁目			
4			めばえ幼稚園	札幌市中央区南 12 条西 12 丁目			
5			柳田家住宅旧りんご蔵	札幌市豊平区平岸 2 条 5 丁目 9-1			
6		国指定 文化財		旧札幌農学校演武場 (札幌市時計台)	札幌市中央区北 1 条西 2 丁目		
7				豊平館	札幌市中央区中島公園 1-20		
8				八窓庵(旧舎那院忘筌)	札幌市中央区中島公園 1		
9				北海道庁旧本庁舎 (赤レンガ庁舎)	札幌市中央区北 2・3 条西 5・6 丁目		
10				北海道大学農学部(旧東北帝国大 学農科大学)第二農場	札幌市中央区北 18・19 条西 7・8 丁目 北海道大学構内		
11				北海道大学農学部植物園・博物館	札幌市中央区北 3 条西 8 丁目 北海道大学植物園内		
12				琴似屯田兵村兵屋跡(史跡)	札幌市西区琴似 2 条 5 丁目 1-12		
13				開拓使札幌本庁本庁舎跡 および旧北海道庁本庁舎(史跡)	札幌市中央区北 2・3 条西 5・6 丁目		
14				道指定 文化財		旧永山武四郎邸	札幌市中央区北 2 条東 6 丁目
15						琴似屯田兵屋	札幌市西区琴似 1 条 7 丁目 琴似神社境内
16	市指定 文化財	市指定 文化財	清華亭	札幌市北区北 7 条西 7 丁目			
17			旧黒岩家住宅(旧簾舞通行屋)	札幌市南区簾舞 1 条 2 丁目 4-15			
18			新琴似屯田兵中隊本部	札幌市北区新琴似 8 条 3 丁目 1-8			
19		登録 有形 文化財		札幌市資料館(旧札幌控訴院)	札幌市中央区大通西 13 丁目		
20				北海道大学古河講堂(旧東北帝国 大学農科大学林学教室)	札幌市北区北 9 条西 7 丁目 北海道大学構内		
21				北星学園創立百周年記念館(旧北 星女学校宣教師館)	札幌市中央区南 4 条西 17 丁目 2		
22				日本基督教団札幌協会(札幌美以 教会堂)	札幌市中央区北 1 条東 1 丁目		
23				北海道知事公館(旧三井クラブ)	札幌市中央区北 1 条西 16 丁目		
24				杉野目家住宅	札幌市中央区南 19 条西 11 丁目 1-25		
25				北海道大学バチエラー記念館	札幌市中央区北 3 条西 9 丁目 北海道大学植物園内		
26				北海道大学附属植物園庁舎 (旧札幌農学校動植物学教室)	札幌市中央区北 3 条西 8 丁目 北海道大学植物園内		
27				北海道大学旧札幌農学校昆虫学及 養蚕学教室	札幌市中央区北 9 条西 8 丁目 北海道大学構内		
28	北海道大学旧札幌農学校図書館読 書室・書庫			札幌市中央区北 9 条西 8 丁目 北海道大学構内			

表 5.8-2 札幌市景観資源指定状況

(2/2)

No.	分類	名称	所在地	
29	登録 有形 文化財	エドウィン・ダン記念館(旧北海道庁真駒内種畜場事務所)	札幌市南区真駒内泉町1丁目6-1	
30		旧西岡水源地取水塔	札幌市豊平区西岡公園内	
31		沼田家住宅旧りんご倉庫	札幌市豊平区西岡4条10丁目350-53	
32	歴史的 景観 資源	札幌 景観 資産	日本食品製造合資会社旧工場	札幌市西区八軒1条西1丁目
33			旧北星女学校宣教師館(北星学園創立百周年記念館)	札幌市中央区南4条西17丁目
34			三谷牧場牛舎・サイロ	札幌市西区発寒8条13丁目
35			旧小熊邸 (ろいず珈琲館)	札幌市中央区伏見5丁目
36			旧石山郵便局 (ぼすとかん)	札幌市南区石山2条3丁目
37			杉野目邸	札幌市中央区南19条西11丁目
38			日本基督教団札幌協会礼拝堂	札幌市中央区北1条東1丁目
39			旧吉田善太郎別邸(八紘学園栗林記念館)	札幌市豊平区月寒東1条12丁目
40			旧吉田牧場畜舎・サイロ	札幌市豊平区月寒東1条13丁目
41			旧石切山駅 (石山振興会館)	札幌市南区石山1条3丁目
42			旧中井家リング倉庫 (平岸天神太鼓道場)	札幌市豊平区平岸3条2丁目
43			沼田家住宅旧りんご倉庫	札幌市豊平区西岡4条10丁目
44			旧沼田家りんご倉庫 (ろいず珈琲館)	札幌市豊平区西岡4条10丁目
45			札幌市資料館(旧札幌控訴院)	札幌市中央区大通西13丁目
46			北海湯	札幌市東区北7条東3丁目
47			札幌聖ミカエル協会	札幌市東区北19条東3丁目
48			エドウィン・ダン記念館	札幌市南区真駒内泉町1丁目
49			城下医院	札幌市中央区南5条西21丁目
50			カトリック北一条教会聖堂	札幌市中央区北1条東6丁目
51			カトリック北一条教会司祭館カテドラルホール	札幌市中央区北1条東6丁目
52			旧藪商事会社ビル (三誠ビル)	札幌市中央区南1条西13丁目
53			高城商店	札幌市東区北7条東4丁目
54			旧藻岩第一浄水場 (札幌市水道記念館)	札幌市中央区伏見4丁目
55			市民会館前のハルニレ	札幌市中央区大通西1丁目
56			永井邸	札幌市中央区南2条西12丁目323-5
57			岩佐ビル	札幌市中央区北3条東5丁目5
58			旧沼田家倉庫	札幌市東区東苗穂5条2丁目11-18
59			旧札幌麦酒製麦所	札幌市東区北7条東9丁目1-1
60			モエレ沼公園	札幌市東区モエレ沼公園1-1
61			旧平岸下本村農事実行組合協働撰果場	札幌市豊平区平岸2条6丁目2-27
62			ミュンヘン大橋	札幌市南区南30条西8丁目
63			八紘学園ポプラ並木	札幌市豊平区月寒東2条13丁目 (北海道農業専門学校敷地内)

※札幌市景観資源は、札幌市ホームページおよび「歴史を活かした景観まちづくりガイド」(札幌市市民まちづくり局)を参照。



※景観資源 No. 5, 17, 18, 29 ~ 31, 34, 36, 39 ~ 44, 48, 58 ~ 61, 63 は図枠外

凡 例

- 自然的景観資源 (No. 1 ~ 2)
- 歴史的景観資源 (景観重要建造物 (No. 3 ~ 5))
- 歴史的景観資源 (指定文化財 (No. 6 ~ 31))
- 歴史的景観資源 (札幌景観資産 (No. 32 ~ 63))

景観眺望点 (景観調査地点)

大倉山ジャンプ競技場

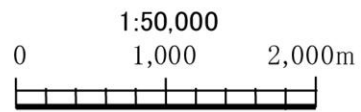


図 5.8-2 景観資源位置図

(2) 眺望点からの視認状況

現地調査の結果、各眺望点からの視認状況は表 5.8-3 に示すとおりである。撮影状況は、さっぽろテレビ塔が表 5.8-4～表 5.8-5 に、大通公園が表 5.8-6～表 5.8-8 に、地下鉄円山公園駅が表 5.8-9～表 5.8-11 に示すとおりである。

表 5.8-3 各眺望点からの視認状況

眺望点	事業実施区域からの距離	対象施設の視認可否	備考
さっぽろテレビ塔	約 5.4km	○	<ul style="list-style-type: none"> ・展望台(地上約 90m)からは明確に視認できるが、1 階(地上)からは街路樹に遮蔽されて視認の範囲が小さくなる。 ・視認の対象は、さっぽろテレビ塔の展望台の利用者と考えられる。
大通公園	約 4.2km ～約 4.8km	△	<ul style="list-style-type: none"> ・大通公園からは街路樹に遮蔽されて視認できないが、市道大通南線からは視認できる。 ・視認の対象は、大通公園の利用者ではなく、通行車両の運転者と考えられる。なお、西 11 丁目付近までは車両からの視認は可能である。
地下鉄円山公園駅	約 2.2km ～約 2.5km	○	<ul style="list-style-type: none"> ・円山公園駅周辺では視認できる箇所が多いが、施設に近接する箇所では視認の範囲が小さくなる。 ・円山公園駅からは、大倉山ジャンプ競技場への路線バスが運行されている。 ・視認の対象は、大倉山ジャンプ競技場観光客および円山公園駅利用客と考えられる。

表 5.8-4 眺望点からの撮影状況(さっぽろテレビ塔/展望台)

撮影日	撮影状況	
<p>令和 6 年 3 月 16 日</p>		
<p>令和 6 年 8 月 19 日</p>		<p>視点場は地上約 90m の展望台である。視点場から大倉山ジャンプ競技場までは約 5.4 km 離れている。ジャンプ競技場の一部は手前の荒井山で遮られているが、およその全景が遠方に視認できる。眺望点から視認できる景観資源は、No. 1 「円山原始林」と No. 19・45 「札幌市資料館」である。</p>
<p>令和 6 年 10 月 30 日</p>		

表 5.8-5 眺望点からの撮影状況(さっぽろテレビ塔/地上出入口)




撮影日	撮影状況	
令和 6 年 2 月 25 日	 <p style="color: red; text-align: center;">大倉山 ジャンプ 競技場</p>	
令和 6 年 8 月 19 日		<p>視点場から大倉山ジャンプ競技場までは約 5.4 km 離れている。着葉期は大通公園の植栽木でジャンプ競技場はほとんど視認できない。落葉期になると、木々の隙間から競技場の一部が視認できる程度である。</p> <p>眺望点から視認できる景観資源はない。</p>
令和 6 年 10 月 30 日		

表 5.8-6 眺望点からの撮影状況(大通公園/大通西5丁目)

撮影日	撮影状況	
令和6年 2月25日		
令和6年 8月8日		<p>視点場から大倉山ジャンプ競技場までは約4.8km離れている。大通り公園の植栽木でジャンプ競技場は視認できない。眺望点から視認できる景観資源はない。</p>
令和6年 10月11日		

表 5.8-7 眺望点からの撮影状況(大通り公園/市道大通南線西5丁目交差点)

撮影日	撮影状況	
<p>令和6年 2月25日</p>		
<p>令和6年 8月19日</p>		<p>視点場から大倉山ジャンプ競技場までは約4.8km離れている。市道大通南線の延長線上の遠方に大倉山ジャンプ競技場が視認できる。競技場の一部は手前の荒井山で遮られている。眺望点から視認できる景観資源はない。</p>
<p>令和6年 10月30日</p>		

表 5.8-8 眺望点からの撮影状況(大通り公園/市道大通南線西 11 丁目交差点)

撮影日	撮影状況	
令和 6 年 2 月 25 日		
令和 6 年 8 月 8 日		<p>視点場から大倉山ジャンプ競技場までは約 4.2 km 離れている。市道大通南線の延長線上の遠方に大倉山ジャンプ競技場が視認できる。競技場の一部は手前の荒井山で遮られている。眺望点から視認できる景観資源はない。</p>
令和 6 年 10 月 11 日		

表 5.8-9 眺望点からの撮影状況(地下鉄円山公園駅/市道大通南線西 25 丁目交差点)

撮影日	撮影状況	
<p>令和 6 年 2 月 25 日</p>	 <p style="color: red; text-align: center;">大倉山 ジャンプ競技場</p>	
<p>令和 6 年 8 月 19 日</p>		<p>視点場から大倉山ジャンプ競技場までは約 2.5 km 離れている。市道大通南線の延長線上に大倉山ジャンプ競技場が視認できる。競技場の一部は手前の荒井山で遮られている。眺望点から視認できる景観資源はない。</p>
<p>令和 6 年 10 月 11 日</p>		

表 5.8-10 眺望点からの撮影状況(地下鉄円山公園駅/市道大通南線西 26 丁目路上)

撮影日	撮影状況	
<p>令和 6 年 2 月 25 日</p>		
<p>令和 6 年 8 月 19 日</p>		<p>視点場から大倉山ジャンプ競技場までは約 2.3 km 離れている。市道大通南線の延長線上に大倉山ジャンプ競技場が視認できる。競技場の一部は手前の荒井山で遮られている。眺望点から視認できる景観資源はない。</p>
<p>令和 6 年 10 月 30 日</p>		

表 5.8-11 眺望点からの撮影状況(地下鉄円山公園駅/市道大通南線西 27 丁目路上)

撮影日	撮影状況	
<p>令和 6 年 2 月 25 日</p>		
<p>令和 6 年 8 月 19 日</p>		<p>視点場から大倉山ジャンプ競技場までは約 2.2 km 離れている。市道大通南線の延長線上に大倉山ジャンプ競技場が視認できるが、手前の荒井山や円山公園の木々で遮られ、見えるのは展望台のみである。眺望点から視認できる景観資源はない。</p>
<p>令和 6 年 10 月 30 日</p>		

5.8.5 予測評価

(1) 予測項目

予測項目は、土地または工作物の存在および供用（地形改変後の土地および工作物の存在）に伴う主要な景観の改変の程度とした。

(2) 予測方法

予測方法は、事業計画を基に、視点場からの景観のフォトモンタージュを作成し、景観の変化を視覚的に予測した。なお、今後事業計画の見直しが生じた場合は、適宜反映・予測していく必要がある。

(3) 予測地域

予測地域は、事業実施区域を望む遠景眺望点である、さっぽろテレビ塔、大通公園（大通り西5丁目～西11丁目）、地下鉄円山公園駅（大通り西25丁目～西27丁目）の3エリアとし、それぞれ2～3地点の眺望点を設定した。

(4) 予測時期

予測時期は、供用開始後事業活動が定常状態に達した時期とした。

(5) 予測結果

予測は、積雪期はジャンプ台の併設による新たな敷地が雪で白く目立つため、冬季については、過年度業務成果(令和5年度大倉山ジャンプ競技場等改修計画検討業務)に従った修景後のフォトモンタージュを作成した。

1) さっぽろテレビ塔/展望台

ジャンプ競技場の一部は手前の荒井山で遮られているが、おおよその全景が遠方に視認できる。眺望点から視認できる景観資源は、No.1「円山原始林」とNo.19・45「札幌市資料館」である。

予測(景観写真とフォトモンタージュとの比較)の結果、表5.8-12に示すとおり、冬季は開放面が積雪で白くなるため、ジャンプ台の併設による新たな敷地が視認できる。ただし、遠方によりその面積は小さい。夏季～秋季は、敷地面の修景により、冬季ほどは目立たない。他方、ジャンプ台の併設による景観資源への影響はない。

以上のことから、事業の実施による景観への影響は小さいと予測される。

2) さっぽろテレビ塔/地上出入口

着葉期は大通り公園の植栽木でジャンプ競技場はほとんど視認できない。落葉期になると、木々の隙間から競技場の一部が視認できる程度である。眺望点から視認できる景観資源はない。

予測(景観写真とフォトモンタージュとの比較)の結果、表5.8-13に示すとおり、冬季は植栽木の隙間から積雪で白くなった新しいジャンプ台が遠方に視認できる。ただし、遠方によりその面積は小さい。他方、ジャンプ台の併設による景観資源への影響はない。

以上のことから、事業の実施による景観への影響は小さいと予測される。

3) 大通り公園/大通り西4丁目

大通り公園の植栽木でジャンプ競技場は視認できない。眺望点から視認できる景観資源はない。

予測(景観写真とフォトモンタージュとの比較)の結果、表5.8-14に示すとおり、大通り公園の植栽木でジャンプ競技場は視認できない。

以上のことから、事業の実施による景観への影響はないと予測される。

4) 大通り公園/市道大通り南線西5丁目交差点

市道大通南線の延長線上の遠方に大倉山ジャンプ競技場が視認できる。競技場の一部は手前の荒井山で遮られている。眺望点から視認できる景観資源はない。

予測(景観写真とフォトモンタージュとの比較)の結果、表5.8-15に示すとおり、冬季は開放面が積雪で白くなるため、ジャンプ台の併設による新たな敷地が視認できる。ただし、遠方によりその面積は小さい。夏季～秋季は、敷地面の修景により、冬季ほどは目立たない。他方、ジャンプ台の併設による景観資源への影響はない。

以上のことから、事業の実施による景観への影響は小さいと予測される。

5) 大通り公園/市道大通り南線西 11 丁目交差点

市道大通南線の延長線上の遠方に大倉山ジャンプ競技場が視認できる。競技場の一部は手前の荒井山で遮られている。眺望点から視認できる景観資源はない。

予測(景観写真とフォトモンタージュとの比較)の結果、表 5.8-16 に示すとおり、冬季は開放面が積雪で白くなるため、ジャンプ台の併設による新たな敷地が視認できる。ただし、遠方によりその面積は小さい。夏季～秋季は、敷地面の修景により、冬季ほどは目立たない。他方、ジャンプ台の併設による景観資源への影響はない。

以上のことから、事業の実施による景観への影響は小さいと予測される。

6) 地下鉄円山公園駅/市道大通り南線西 25 丁目交差点

市道大通南線の延長線上に大倉山ジャンプ競技場が視認できる。競技場の約半分は手前の荒井山で遮られている。眺望点から視認できる景観資源はない。

予測(景観写真とフォトモンタージュとの比較)の結果、表 5.8-17 に示すとおり、冬季は開放面が積雪で白くなるため、ジャンプ台の併設による新たな敷地が目立つ。しかし、新たな敷地への緑化植栽によりその程度は緩和されている。また、敷地の約半分は手前の荒井山で遮られており、視認できる敷地の面積は小さい(写真変化率^{*}は約 1.05%)。夏季～秋季は、敷地面の修景により、冬季ほどは目立たない。他方、ジャンプ台の併設による景観資源への影響はない。

以上のことから、事業の実施による景観への影響は小さいと予測される。

7) 地下鉄円山公園駅/市道大通り南線西 26 丁目路上

市道大通南線の延長線上に大倉山ジャンプ競技場が視認できる。競技場の約半分は手前の荒井山で遮られている。眺望点から視認できる景観資源はない。

予測(景観写真とフォトモンタージュとの比較)の結果、表 5.8-18 に示すとおり、冬季は開放面が積雪で白くなるため、ジャンプ台の併設による新たな敷地が目立つ。しかし、新たな敷地への緑化植栽によりその程度は緩和されている。また、敷地の約半分は手前の荒井山で遮られており、視認できる敷地の面積は小さい(写真変化率^{*}は約 1.19%)。夏季～秋季は、敷地面の修景により、冬季ほどは目立たない。他方、ジャンプ台の併設による景観資源への影響はない。

以上のことから、事業の実施による景観への影響は小さいと予測される。

8) 地下鉄円山公園駅/市道大通り南線西 27 丁目路上

市道大通南線の延長線上に大倉山ジャンプ競技場が視認できるが、手前の荒井山や円山公園の木々で遮られ、見えるのは頂上の展望台のみである。眺望点から視認できる景観資源はない。

予測(景観写真とフォトモンタージュとの比較)の結果、表 5.8-19 に示すとおり、競技場手前の荒井山や円山公園の木々で遮られ、ジャンプ台の併設による新たな敷地はほとんど視認できない(写真変化率^{*}は約 0.003%)。他方、ジャンプ台の併設による景観資源への影響はない。

以上のことから、事業の実施による景観への影響は小さいと予測される。

※写真変化率：景観写真とフォトモンタージュを比較したときの写真全体に対する変化の割合

表 5.8-12 眺望点からの撮影状況とフォトモンタージュ（さっぽろテレビ塔/展望台）







撮影日	景観写真	フォトモンタージュ	視認状況・予測結果
令和6年2月			
令和6年8月19日			<p>【視認状況】 眺望場は地上約90mの展望台である。眺望場から大倉山ジャンプ競技場までは約5.4km離れている。ジャンプ競技場の一部は手前の荒井山で遮られているが、おおよその全景が遠方に視認できる。眺望点から視認できる景観資源は、No.1「円山原始林」とNo.19・45「札幌市資料館」である。</p> <p>【予測結果(フォトモンタージュとの比較)】 冬季は、開放面が積雪で白くなるため、ジャンプ台の併設による新たな敷地が視認できる。ただし、遠方によりその面積は小さい。夏季～秋季は、敷地面の修景により、冬季ほどは目立たない。ジャンプ台の併設による景観資源への影響はない。以上のことから、事業の実施による景観への影響は小さいと予測される。</p>
令和6年10月30日			

表 5.8-13 眺望点からの撮影状況とフォトモンタージュ（さっぽろテレビ塔/地上出入口）







撮影日	景観写真	フォトモンタージュ	視認状況・予測結果
令和6年2月			
令和6年8月19日			<p>【視認状況】 視点場から大倉山ジャンプ競技場までは約5.4km離れている。 着葉期は大通り公園の植栽木でジャンプ競技場はほとんど視認できない。落葉期になると、木々の隙間から競技場の一部が視認できる程度である。 眺望点から視認できる景観資源はない。</p> <p>【予測結果(フォトモンタージュとの比較)】 冬季は、植栽木の隙間から積雪で白くなった新しいジャンプ台が遠方に視認できる。ただし、遠方によりその面積は小さい。 夏季～秋季は、大通り公園の植栽木でジャンプ競技場はほとんど視認できない。 ジャンプ台の併設による景観資源への影響はない。 以上のことから、事業の実施による景観への影響は小さいと予測される。</p>
令和6年10月30日			

表 5.8-14 眺望点からの撮影状況とフォトモンタージュ（大通り公園/大通西4丁目）



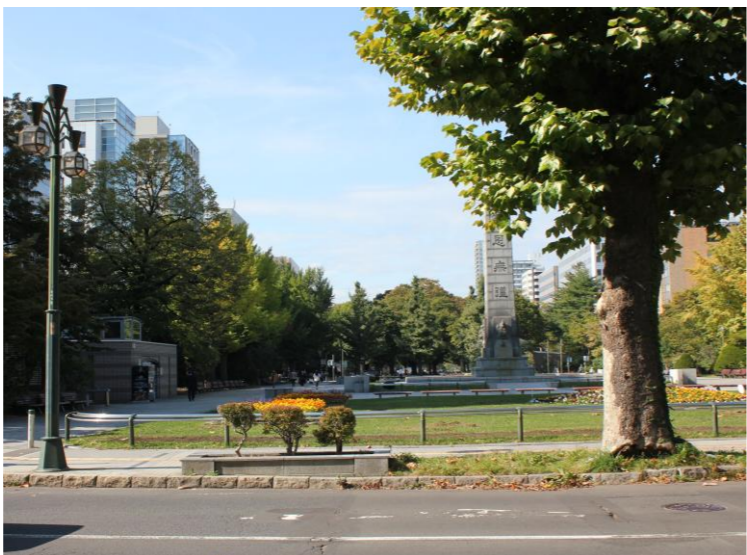

撮影日	景观写真	フォトモンタージュ	視認状況・予測結果
令和6年2月			
令和6年8月8日			<p>【視認状況】 視点場から大倉山ジャンプ競技場までは約4.8km離れている。 大通公園の植栽木でジャンプ競技場は視認できない。 眺望点から視認できる景观資源はない。</p> <p>【予測結果(フォトモンタージュとの比較)】 大通公園の植栽木でジャンプ競技場は視認できない。 以上のことから、事業の実施による景观への影響はないと予測される。</p>
令和6年10月11日			

表 5.8-15 眺望点からの撮影状況とフォトモンタージュ（大通公園/市道大通南線西5丁目交差点）



撮影日	景観写真	フォトモンタージュ	視認状況・予測結果
令和6年2月			
令和6年8月19日			<p>【視認状況】 視点場から大倉山ジャンプ競技場までは約 4.8 km 離れている。 市道大通南線の延長線上の遠方に大倉山ジャンプ競技場が視認できる。競技場の一部は手前の荒井山で遮られている。 眺望点から視認できる景観資源はない。</p> <p>【予測結果(フォトモンタージュとの比較)】 冬季は、開放面が積雪で白くなるため、ジャンプ台の併設による新たな敷地が視認できる。ただし、遠方によりその面積は小さい。 夏季～秋季は、敷地面の修景により、冬季ほどは目立たない。 ジャンプ台の併設による景観資源への影響はない。 以上のことから、事業の実施による景観への影響は小さいと予測される。</p>
令和6年10月30日			

表 5.8-16 眺望点からの撮影状況とフォトモンタージュ（大通公園/市道大通南線西 11 丁目交差点）







撮影日	景観写真	フォトモンタージュ	視認状況・予測結果
令和 6 年 2 月			
令和 6 年 8 月 8 日			<p>【視認状況】 視点場から大倉山ジャンプ競技場までは約 4.2 km 離れている。 市道大通南線の延長線上の遠方に大倉山ジャンプ競技場が視認できる。競技場の一部は手前の荒井山で遮られている。 眺望点から視認できる景観資源はない。</p> <p>【予測結果(フォトモンタージュとの比較)】 冬季は、開放面が積雪で白くなるため、ジャンプ台の併設による新たな敷地が視認できる。ただし、遠方によりその面積は小さい。 夏季～秋季は、敷地面の修景により、冬季ほどは目立たない。 ジャンプ台の併設による景観資源への影響はない。 以上のことから、事業の実施による景観への影響は小さいと予測される。</p>
令和 6 年 10 月 11 日			

表 5.8-17 眺望点からの撮影状況とフォトモンタージュ（地下鉄円山公園駅/市道大通南線西 25 丁目交差点）


撮影日	景観写真	フォトモンタージュ	視認状況・予測結果
令和 6 年 2 月			<p>【視認状況】 視点場から大倉山ジャンプ競技場までは約 2.5 km 離れている。 市道大通南線の延長線上に大倉山ジャンプ競技場が視認できる。競技場の約半分は手前の荒井山で遮られている。 眺望点から視認できる景観資源はない。 写真は、対角画角が約 42.0°、焦点距離はフルサイズ換算約 56mm。 眺望点は、市道大通南線西 25 丁目交差点の横断歩道上で、車両からの視認状況に近い(歩道上からは市道に接する建物や街路樹で視認は困難)。</p>
令和 6 年 8 月 19 日			<p>【予測結果(フォトモンタージュとの比較)】 冬季は、開放面が積雪で白くなるため、ジャンプ台の併設による新たな敷地が目立つ。しかし、新たな敷地への緑化植栽によりその程度は緩和されている。また、敷地の約半分は手前の荒井山で遮られており、視認できる敷地の面積は小さい(写真変化率*は約 1.05%)。 夏季～秋季は、敷地面の修景により、冬季ほどは目立たない。 ジャンプ台の併設による景観資源への影響はない。</p>
令和 6 年 10 月 11 日			<p>以上のことから、事業の実施による景観への影響は小さいと予測される。</p> <p>※写真変化率：景観写真とフォトモンタージュを比較したときの写真全体に対する変化の割合</p>

表 5.8-18 眺望点からの撮影状況とフォトモンタージュ（地下鉄円山公園駅/市道大通南線西 26 丁目路上）









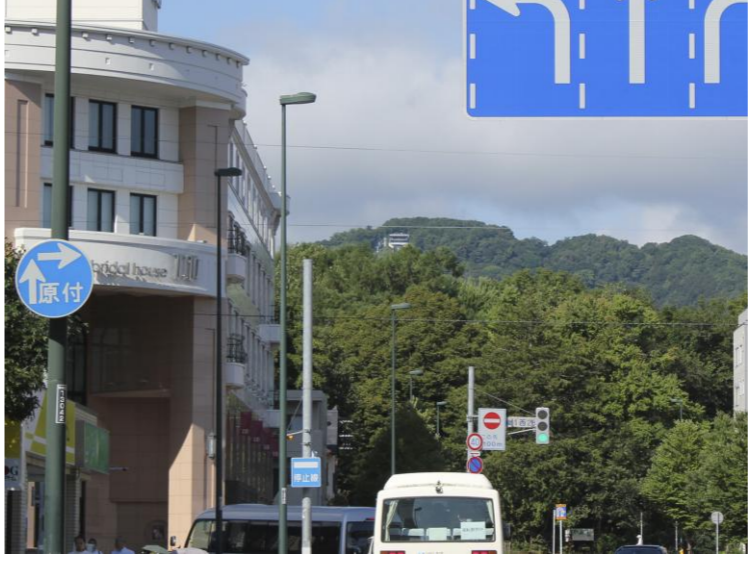


撮影日	景観写真	フォトモンタージュ	視認状況・予測結果
令和 6 年 2 月			<p>【視認状況】 視点場から大倉山ジャンプ競技場までは約 2.3 km 離れている。 市道大通南線の延長線上に大倉山ジャンプ競技場が視認できる。競技場の約半分は手前の荒井山で遮られている。 眺望点から視認できる景観資源はない。 写真は、対角画角が約 42.0°、焦点距離はフルサイズ換算約 56mm。 眺望点は、市道大通南線西 26 丁目の路上で、車両からの視認状況に近い(歩道上からは市道に接する建物や街路樹で視認は困難)。</p>
令和 6 年 8 月 19 日			<p>【予測結果(フォトモンタージュとの比較)】 冬季は開放面が積雪で白くなるため、ジャンプ台の併設による新たな敷地が目立つ。しかし、新たな敷地への緑化植栽によりその程度は緩和されている。また、敷地の約半分は手前の荒井山で遮られており、視認できる敷地の面積は小さい(写真変化率*は約 1.19%)。 夏季～秋季は、敷地面の修景により、冬季ほどは目立たない。 ジャンプ台の併設による景観資源への影響はない。</p>
令和 6 年 10 月 30 日			<p>以上のことから、事業の実施による景観への影響は小さいと予測される。</p> <p>※写真変化率：景観写真とフォトモンタージュを比較したときの写真全体に対する変化の割合</p>

表 5.8-19 眺望点からの撮影状況とフォトモンタージュ（地下鉄円山公園駅/市道大通南線西 27 丁目路上）

撮影日	景観写真	フォトモンタージュ	視認状況・予測結果
令和 6 年 2 月			<p>【視認状況】 視点場から大倉山ジャンプ競技場までは約 2.2 km 離れている。 市道大通南線の延長線上に大倉山ジャンプ競技場が視認できるが、手前の荒井山や円山公園の木々で遮られ、見えるのは頂上の展望台のみである。 眺望点から視認できる景観資源はない。 写真は、対角画角が約 42.0°、焦点距離はフルサイズ換算約 56mm。 眺望点は、市道大通南線西 27 丁目の路上で、車両からの視認状況に近い(歩道上からは市道に接する建物や街路樹で視認は困難)。</p>
令和 6 年 8 月 19 日			<p>【予測結果(フォトモンタージュとの比較)】 競技場手前の荒井山や円山公園の木々で遮られ、ジャンプ台の併設による新たな敷地はほとんど視認できない(写真変化率*は約 0.003%)。ジャンプ台の併設による景観資源への影響はない。 以上のことから、事業の実施による景観への影響は小さいと予測される。</p>
令和 6 年 10 月 30 日			<p>※写真変化率：景観写真とフォトモンタージュを比較したときの写真全体に対する変化の割合</p>

(6) 環境保全のための措置

今後の事業計画の見直し等において、樹木の伐採範囲の縮小や植栽による修景等の環境配慮を講じることとする。具体的な措置方法については、今後の事業計画の見直し等で検討する。

(7) 評価

事業の実施による景観への影響はないまたは小さいと予測された。

また、今後の工事の設計段階において、技術的な検討に基づき、樹木の伐採範囲を最小化する施工方法の採用や植栽による修景等の環境配慮を講じることによって、景観への影響はさらに低減されると評価される。